

部長会議付議事案書（報告）

（令和7年8月26日）

提案課名 環境共生課

報告者名 谷 芳生

事案名	第39回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会（通称「名水サミット in はだの」）の開催について	資料 有
提案趣旨	全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会は、環境省から「名水百選」に選定された名水を有する自治体等で構成される協議会により、地域づくりの推進や水の重要性の周知を目的として、加盟市町村が持ち回りで会長市となり、毎年開催されています。 今回、市制施行70周年、及び名水百選「秦野盆地湧水群」の選定から40周年を迎えることを記念して「名水サミット in はだの」を開催するため、次のとおり報告するものです。	
概要	1 「名水サミット in はだの」の開催概要 (1) 開催日時 令和7年11月8日（土） ※ 「第20回秦野市里山まつり」を同日開催 ※ 11月9日（日）は、オプションルツアーを開催（協議会会員が対象） ア 幹事会兼実行委員会 午前10時30分～ イ 全国大会 午前11時～ ウ シンポジウム 午後1時～ エ 交流会 午後6時～ (2) 開催場所 メタックス体育館はだの（秦野市総合体育館） (3) 参加者 協議会加盟自治体（全180自治体）、団体関係者、一般市民等 約500名 (4) 来賓（予定） 環境省、神奈川県（出席者未定）、国会議員、県議会議員、市議会議員 (5) テーマ 「名水というのには訳がある」 (6) シンポジウム内容 名水紹介、基調講演、パネルディスカッション、大会宣言等	

経過	1 名水百選の選定 (1) 昭和60年 環境庁（現環境省）が「名水百選」を選定 (2) 平成20年 環境省が「平成の名水百選」を選定 2 名水サミット開催状況 昭和62年度 第1回 岐阜県八幡町（現郡上市） 昭和63年度 第2回 秋田県湯沢市 （以降は毎年、全国水環境保全市町村連絡協議会加盟市町村で開催） 令和6年度 第38回 長崎県島原市 令和7年度 第39回 神奈川県秦野市（神奈川県内初開催）
今後の進め方	1 令和7年 8月 協議会会員への案内 2 令和7年 9月 市民へ周知（ポスター掲示等） 3 令和7年 9月30日 議員連絡会での報告 4 令和7年10月16日 記者会見 5 令和7年11月 1日 広報はだの特集号掲載 6 令和7年11月 8日 「名水サミット in はだの」の開催

第39回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会
名水サミット in はだの
企画概要書



1 名水サミットについて

全国水環境保全市町村連絡協議会

協議会は、全国の「名水百選」に選定された市町村が連携し、英知と創意を結集し水環境の保護の推進と水質保全意識の高揚を図ることを目的とした組織で、環境省をオブザーバーとしている。

規約に基づき、協議会会長は全国大会開催地の市町村長とし、各ブロックの幹事を指名することとなっている。

令和7年度役員等

会長 神奈川県秦野市長（開催地）
幹事 山形県西川町長（北海道・東北）
群馬県東吾妻町長（関東）
静岡県富士宮市長（東海・北陸）
奈良県曽爾村長（近畿）
高知県四万十市長（中国・四国）
長崎県島原市長（九州）

名水サミット

「全国水環境保全市町村連絡協議会」が、地域づくりの推進や水の重要性の周知を目的に、毎年、協議会会員市町村の持ち回りで開催している全国大会及びシンポジウムのこと。

例年、幹事会兼実行委員会、全国大会、名水シンポジウム、交流会、オプションルツアーを実施している。

過去参加者数は次のとおり。

令和4年度（千葉県君津市）

シンポジウム 250名
交流会 45名
オプションルツアー 31名

令和5年度（静岡県三島市、清水町）

シンポジウム 400名
交流会 73名
オプションルツアー 50名

近年の開催状況

令和3年度 ※新型コロナウイルスにより書面開催

岐阜県郡上市

令和4年度

千葉県君津市（市制施行50周年記念）

令和5年度 ※共催

静岡県三島市

〃 清水町（町制施行60周年記念）

令和6年度

長崎県島原市

令和7年度

神奈川県秦野市（市制施行70周年記念）

令和8年度

山形県西川町

参加費（例年）	円／人
全国大会	5,000円
一日目昼食	1,000円
交流会	7,000円
オプションルツアー	2,000円

2 名水サミット in はだの 開催案①

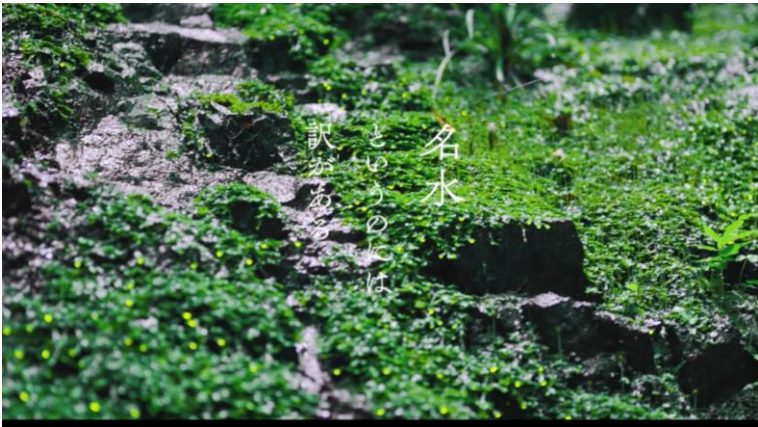
テーマ

「名水というのには訳がある」

テーマ設定の理由

緑豊かな丹沢山地が育み、先人たちの弛まぬ知恵と努力により守られながら、生活を支える市民共有の財産として人々に使われ、今に伝えられてきた「秦野名水」。

「名水の里 秦野」と呼ばれる【訳】を様々な視点から捉え、その魅力を発信します。



過去開催地のテーマ

年度	テーマ
2022	名水サミット in きみつ
テーマ	～水と共鳴する伝統の技～
2023	名水サミット in みしま・しみず
テーマ	命をつなぐ、街をつなぐ、次世代につなぐ ー富士山の湧水の恵みー
2024	名水サミット in しまばら
テーマ	“井戸端”からはじまる、未来日記

過去開催地一覧

回	開催地	回	開催地
1	岐阜県八幡町	21	山梨県北杜市
2	秋田県湯沢市	22	兵庫県神戸市
3	長崎県島原市	23	島根県海士町
4	福井県大野市	24	佐賀県小城市
5	富山県黒部市	25	秋田県美郷町
6	熊本県菊池市	26	群馬県片品村
7	埼玉県寄居町	27	石川県七尾市
8	北海道千歳市	28	山口県周南市
9	愛媛県西条市	29	長野県安曇野市
10	静岡県清水町	30	三重県志摩市
11	長野県豊科町	31	愛媛県西予市
12	鹿児島県屋久町	32	富山県黒部市
13	岡山県八束村	33	鹿児島県鹿児島市
14	宮崎県綾町	34	愛媛県西条市
15	高知県中村市	35	岐阜県郡上市
16	和歌山県中辺路町	36	千葉県君津市
17	秋田県湯沢市	37	静岡県三島市・清水町
18	福井県小浜市・上中町	38	長崎県島原市
19	愛知県犬山市	39	神奈川県秦野市
20	奈良県天川村	40	山形県西川町

3 名水サミット in はだの 開催案②

日程

令和7年11月8日（土）
幹事会兼実行委員会、全国大会、
シンポジウム、交流会
※秦野市里山まつり同日開催

11月9日（日）
オプションルツアー

2025.11

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10/31,11/1 第30回全国報徳サミット秦野市大会
11/3 市制施行70周年記念式典、第46回秦野市市民の日

主催

全国水環境保全市町村連絡協議会

共催

秦野市（協議会会長市）

後援（予定）

環境省
国土交通省
神奈川県
内閣官房水循環政策本部
公益社団法人日本地下水学会
公益財団法人日本自然保護協会
丹沢大山自然再生委員会

協力（予定）

秦野商工会議所
秦野青年会議所
秦野市農業協同組合
秦野市森林組合
秦野市観光協会
酒匂川水系保全協議会
湘南里川づくりみんなの会
はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
はだの表丹沢森林セラピー協議会

4 名水サミット in はだの 開催案③

開催日程

1 日目	令和 7 年 1 1 月 8 日 (土)
10 : 30 ~	幹事会兼実行委員会
会場	総合体育館第 1 武道場
11 : 00 ~	全国大会
会場	総合体育館第 1 武道場
13 : 15 ~	シンポジウム
会場	総合体育館メインアリーナ
18 : 00 ~	交流会
会場	秦野市商工会議所401会議室
2 日目	令和 7 年 1 1 月 9 日 (日)
09 : 00 ~	オプショナルツアー
	秦野駅～南地区湧水巡り～
	葛葉の泉（森林セラピー体験）～
～13 : 00	市内飲食店（昼食）～秦野駅

シンポジウム

会場	総合体育館メインアリーナ
13 : 00 頃	オープニングアクト（オカリナ演奏）
13 : 15 ~	開会宣言（長崎県島原市長）
13 : 20 ~	協議会会長あいさつ（秦野市長）
13 : 25 ~	来賓祝辞①（環境省）
13 : 30 ~	来賓祝辞②（神奈川県）
13 : 35 ~	名水紹介①（秦野名水名人講）
13 : 50 ~	名水紹介②（秦野市環境共生課）
14 : 10 ~	基調講演① 平塚市博物館 野崎学芸員
14 : 30 ~	基調講演② 神奈川県温泉地学研究所 宮下所長
14 : 50 ~	基調講演③ 横浜国立大学大学院 小林教授
15 : 10 ~	基調講演④ 大阪公立大学 遠藤教授
15 : 30 ~	基調講演⑤ かながわ淡水魚復元研究会 勝呂会長
15 : 55 ~	パネルディスカッション
16 : 50 ~	大会宣言（山形県西川町長）

基調講演（各15分間）

テーマ	名水というのには訳がある
14 : 10 ~ 地形地質	平塚市博物館 野崎学芸員 秦野盆地の地形と成り立ち
14 : 30 ~ 量の保全	神奈川県温泉地学研究所 宮下所長 秦野盆地における地下水調査結果、 水収支、地下水保全施策
14 : 50 ~ 質の保全	横浜国立大学大学院 小林教授 秦野市の地下水汚染対策、 土壌・地下水浄化事業
15 : 10 ~ 法体系	大阪公立大学 遠藤教授 地下水保全に係る法整備、 地下水ガバナンス
15 : 30 ~ 生物環境	かながわ淡水魚復元研究会 勝呂会長 自然生態系、水辺環境保全、 湧水に生息する貴重な生き物

5 名水サミット in はだの 開催案④

パネルディスカッション概要

時間 15:55～16:45（50分間）

主題 「名水というのには訳がある」

出演

コーディネーター 小林 剛
（横浜国立大学大学院）

パネリスト 高橋 昌和（秦野市長）
湯川 裕司（山北町長）
加藤 修平（南足柄市長）
宮下 雄次
（神奈川県温泉地学研究所）
立石 純子
（はだのブランドアンバサダー）

パネルディスカッション内容

内容詳細については運営等委託業務において業者委託後、調整を行う。

< 構想案 >

秦野市地下水保全審議会審議会の小林会長をコーディネーターに、水源地域にある名水百選選定自治体からそれぞれが有する名水の【訳】を伺いながら、水を生かした各地の魅力を発信する。

宮下所長には専門的な見地から、それぞれの地域の水環境について補足いただき、秦野名水をPRする一般の視点からは「はだのブランドアンバサダー」を務める立石純子さん（サンミュージックプロダクション所属）に感想等をいただく。立石純子さんは横浜生まれ秦野育ちで、登山やランニング等のアクティビティにも積極的に参加している。

大会宣言

令和8年度開催地である山形県西川町が登壇し動画放映（約1分）後、次期開催地あいさつ及び大会宣言を実施する。

菅野 大志（かんの だいし）



略歴

- ・1978年 山形県西川町大字吉川に生まれる
- ・1997年 寒河江高校卒業
- ・2001年 早稲田大学卒業
- ・2001年 財務省東北財務局入局
- ・2006年 金融庁監督局銀行第一課
- ・2008年 財務省東北財務局金融監督第一課
- ・2018年 金融庁総合政策局地域課題解決支援チーム
- ・2019年 金融庁監督局総務課地域課題解決支援室
- ・2021年 内閣官房まちひととしご創生本部事務局
- ・2022年 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
- ・2022年4月 山形県西川町 町長

山形県西川町ホームページ <https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/site/mayor/1428.html>

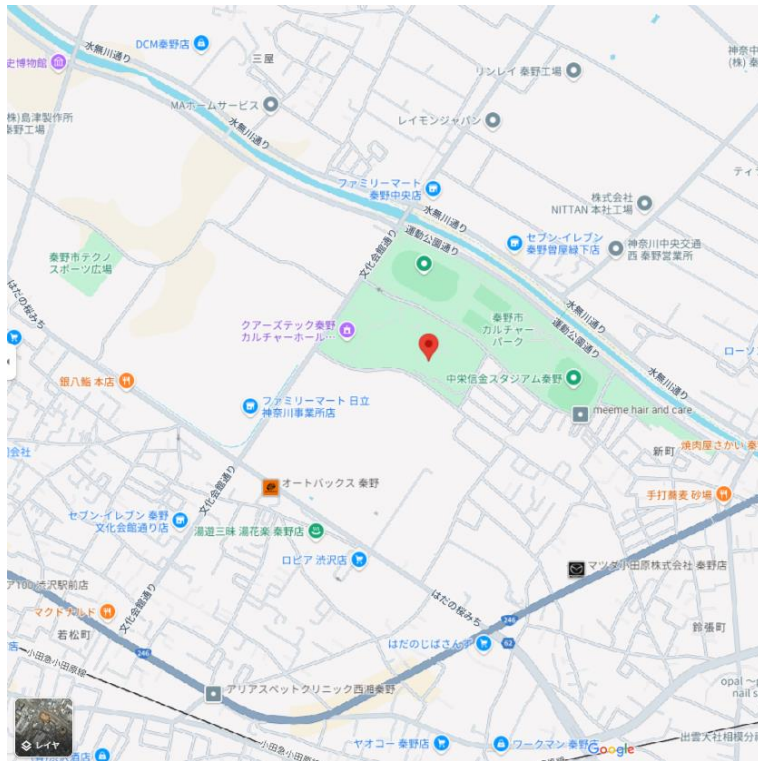


6 名水サミット in はだの 開催案⑤

主要会場

メタックス体育館はだの（秦野市総合体育館）

〒257-0015 神奈川県秦野市平沢101-1



会場写真



メインアリーナ

施設面積：約2,193平方メートル
バレーボール4面、バスケットボール3面、卓球台20台、
バドミントン12面、体操全種目
移動観覧席1,176席、固定観覧席（2階）768席、
他に車いす用スペース7席

シンポジウム



サブアリーナ

施設面積：約701平方メートル
バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン3面

展示ブース



第一武道場（剣道など）

施設面積：約489平方メートル
剣道、空手、少林寺各2面、その他

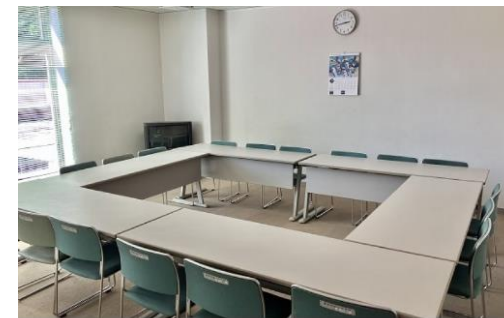
幹事会・全国大会



第1会議室

定員24人：テーブル利用の場合

参加者控室



第2会議室

定員18人：テーブル利用の場合

参加者控室

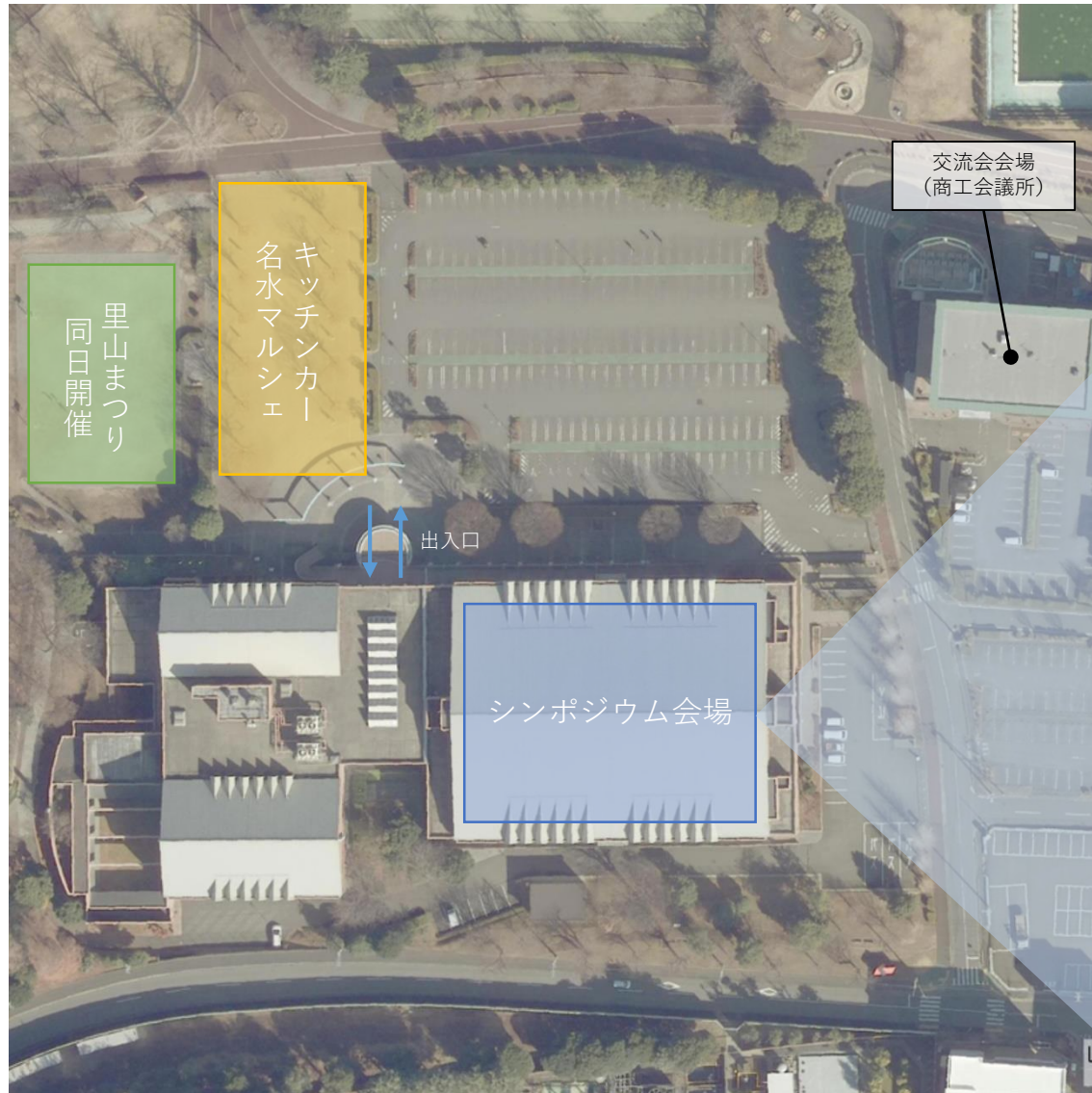


第3会議室

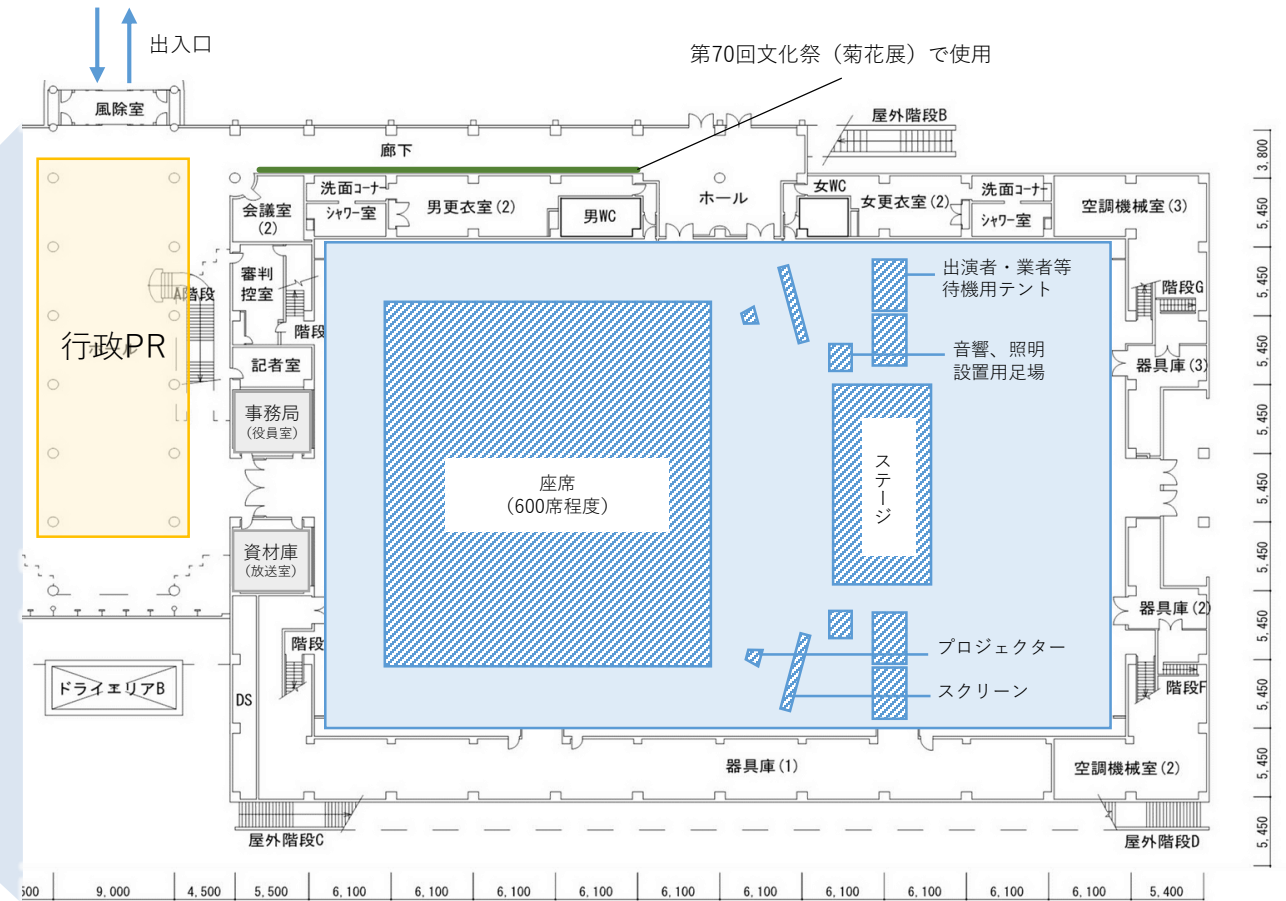
定員18人：テーブル利用の場合

昼食会

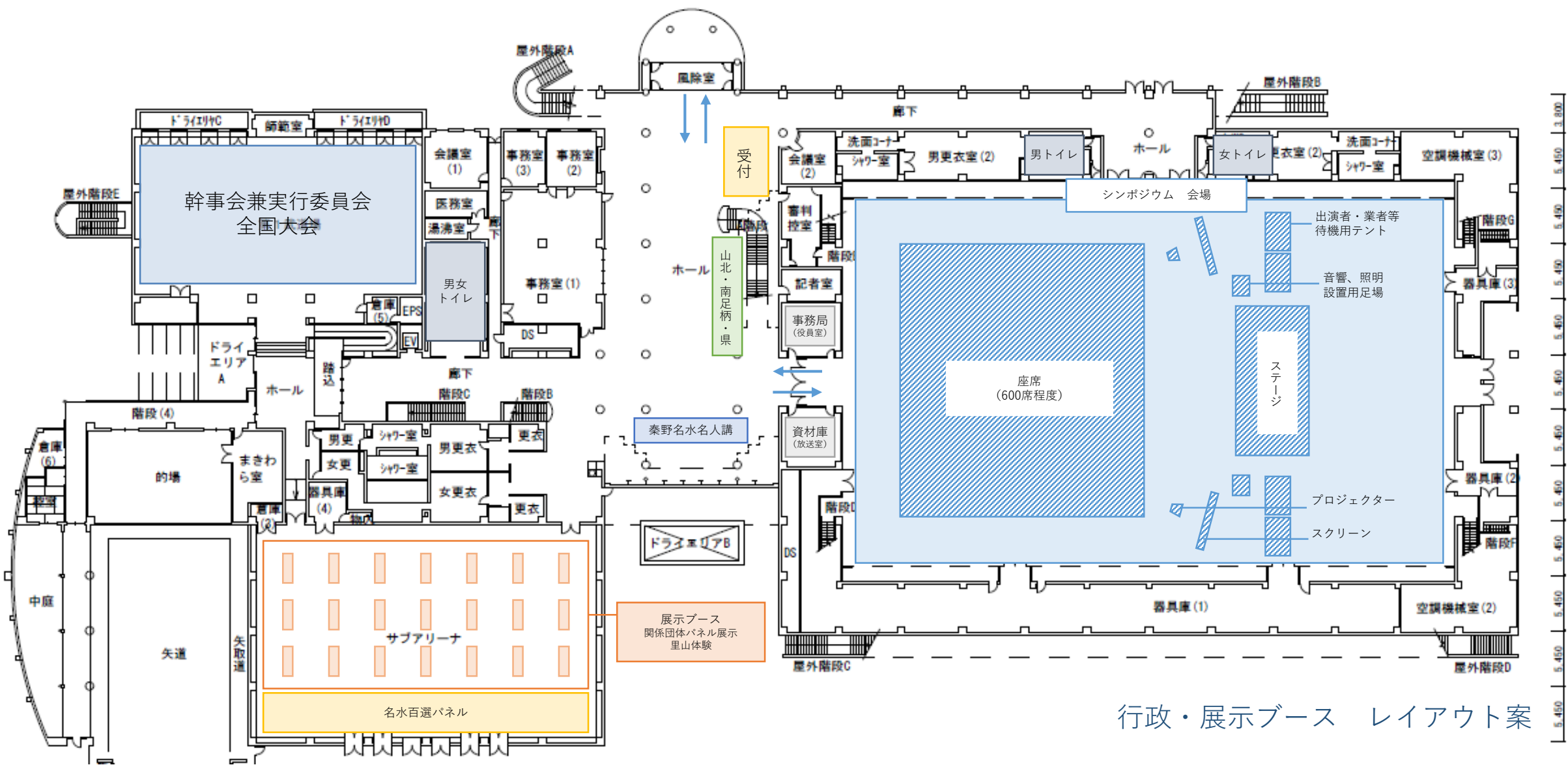
7 名水サミット in はだの 開催案⑥



会場周辺レイアウト



8 名水サミット in はだの 開催案⑦



行政・展示ブース レイアウト案